

令和5年度「山形学」第3回講座 実施報告書

- ◆日時：9月10日（日）9：00～12：30
- ◆会場：①長谷堂城跡登山を中止し、遊学館3階第1研修室で座学に変更
②最上義光歴史館
- ◆テーマ：大テーマ「山形の歴史的成り立ち」
第3回テーマ「村山の歴史的成り立ち」
- ◆内容：長谷堂城跡と最上義光歴史館を訪問し、14世紀半ばから17世紀初頭にかけて勢力を誇った最上氏、とりわけ義光時代に注目して村山地域の歴史を学ぶ。
- ◆講師：結城晋太郎氏（長谷堂合戦ボランティアガイドの会会長）
高橋幹則氏（長谷堂合戦ボランティアガイドの会）
コーディネーター：松尾剛次氏（「山形学」企画委員）
- ◆プログラム
 - 9：10 座学開始
 - 9：15 講話 結城氏、高橋氏（60分）
 - 10：15 質問票記入・回収
 - 10：20 質疑応答（15分）
 - 10：35 コーディネーターまとめ
 - 10：48 座学終了、移動
 - 11：00 バス出発
 - 11：10 最上義光歴史館到着、見学
 - 12：30 遊学館到着、解散

◆第3回参加者：44名

◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会

◆当日の様子

- ・当初予定では、長谷堂城跡の山頂まで1時間の登山をする予定であったが、熱中症の危険性が高いため登山を中止とし、館内での座学に変更しました。長谷堂合戦ボランティアガイドの会の結城氏と高橋氏からは、ガイドの会の紹介から、慶長出羽合戦のイメージや、長谷堂城の「曲輪」、「横矢掛り」、「切岸」、「土塁」、「二重横堀」など防御施設等の見どころなどを豊富な資料をスクリーンに映しながら詳しく解説してもらいました。また、現地で登山した気分を味わえるようにと、急遽実際に登山して撮影された動画を見せていただき、居ながらにして登山を堪能でき、ありがたかったです。また、松尾先生にはクイズも考えてもらい、受講生は真剣な表情で取り組んでいました。
- ・最上義光歴史館では、最初に松尾委員に義光のブロンズ像前でお話を伺った後、2班に分かれて学芸員に説明を受けました。高木学芸員からは、ロビーで展示している山形城の発掘調査で出土した義光時代の遺物、主に焼き物や金箔瓦について説明してもらい、義光が茶道を嗜む文化人であったことや、プラタモリでも紹介された金箔瓦が大量に出土していることから見えてくる当時の山形城の様子など、知られざる一面について深く理解することができました。その後の松尾氏の補足説明では受講生から多くの質問が寄せられ関心の高さが窺えました。また、揚妻学芸員からは、展示室内の様々な甲冑や戦の屏風絵を解説してもらい、また義光が実際に戦で使用した兜を見て、合戦の様子を容易にイメージすることができました。最上義光や長谷堂合戦について、理解が一層深まった大変有意義な講座となりました。

参加者の声

- ・慶長出羽合戦当時の時代背景を現地の地理的状況、山形の歴史と文化、他の戦国武将との関わりなど様々な観点より学ぶことができました。最上義光の出生、当時一流の文化人であったことから、過去の大河ドラマで変に悪いイメージに脚色されていたことも知ることができました。知らなかったことが学べて大変良かったです。
- ・ボランティアガイドの会の講師のお話が、資料が豊富で大変わかりやすく、長谷堂合戦の様子をよく理解することができました。
- ・長谷堂城跡は、今でこそ木々が鬱蒼と茂っているが、昔は裸山だったとのこと。樹があると矢で火を放たれると一気に燃え広がってしまうからとの松尾先生のお話は勉強になりました。
- ・プラタモリで、義光の騎馬像の向きについてからかわれていましたが、松尾先生の「長谷堂城の方を向いている」とのお話に、納得いたしました。ぜひ名誉挽回したいものですね。
- ・登山は中止となりましたが、高橋氏の動画のおかげで、すっかり行った気になりました。ありがとうございました。

○当日の様子



講師：結城晋太郎氏



講師：高橋幹則氏



コーディネーター：松尾剛次氏



座学にて長谷堂城跡を学ぶ



最上義光歴史館 ブロンズ像前で解説



最上義光歴史館：揚妻学芸員より解説



最上義光歴史館：高木学芸員より解説